



事業概要【社会・経済状況の変化に適応する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略】


| | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|------------|--|--------------|--|---|---|
| 申請者 | 徳島県ほか 5 自治体※ | | | | | | 初回採択回 | 令和 3 年度第 1 回募集 |
| 事業計画期間 | R3-R7年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 1,028,757千円 (203,810千円) |
| 経費の種類 | ソフト 事業 | ✓ | 拠点整 備事業 | | インフラ 整備事業 | | 事業分野 | 農林水産分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">・広域的な産地間連携等による園芸産地の再編・強化や、先端技術を活用した超省力化・高品質生産の実装等による生産性の向上を図る。・気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及に取り組む。・状況の変化に対応した新たな販売戦略を構築する。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 | <p>【事業概要】 農林水産物の生産性向上の促進、気候変動等環境変化への適応策の推進、状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築などに取り組み、本県農林水産業の生産力強化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 スマート技術の導入推進や、広域的な産地間連携に向けた栽培技術の統一等の体制づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・スマート技術の導入や産地間連携の推進（委託料等）10,093千円気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及、新たな品目の栽培技術等の開発に取り組む。・新品目の栽培技術開発（需用費等）20,915千円多様な販売チャネルを活用した農林水産物の販売拡大に取り組む。・発信力の高い販売チャネルを活用したブランディング（委託料等）33,350千円 | | | | | | <div><p>阿波ふうど試食会商談</p></div> <div><p>食の博覧会</p></div> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の農林水産関係団体や高等教育機関等と連携して、気候変動への適応策に関する技術の実証や共同研究、生産者とのコーディネート、6次化商品の開発・販路拡大等に取り組む。 | | | | | | KPI | <ul style="list-style-type: none">①産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額（+25億円）②農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数（+34件）③とくしまブランド推進機構の関与した販売金額（+25億円）④農林水産物等輸出金額（+9億円） |

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

事業概要【ニューノーマル時代を切り拓く「転職なき移住」推進事業】

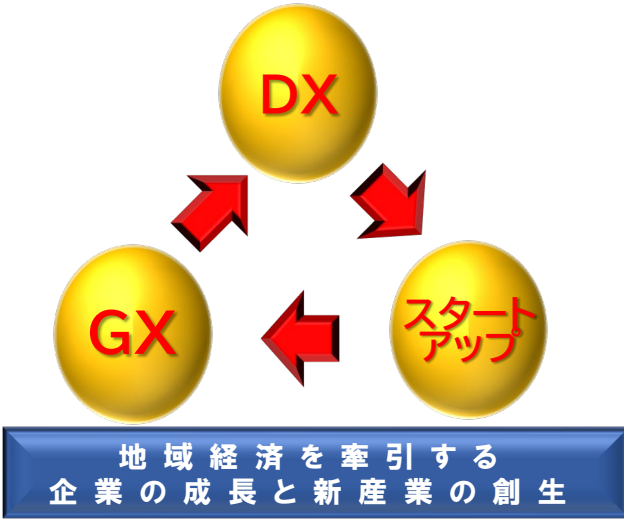
| | | | | | | | |
|-----------------|--|---|--------|--|----------|---|--|
| 申請者 | 徳島県、美波町 | | | | | 初回採択回 | 令和3年度第2回募集 |
| 事業計画期間 | R3-R7年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 916,884千円 (193,300千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 地方への人の流れ分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">・「ワーケーション」や「副業・兼業」などの地域に継続的に関わっていただける人材の獲得を目指す。・若者世代をはじめとする移住者の拡大及び戦略的な移住交流の加速化を図る。・移住者の受け皿となる地域産業・人材の育成・暮らしやすい社会づくりを推進する。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 | <p>【事業概要】 深化したライフスタイルの定着や、ニーズに応じた移住・交流支援の展開、ターゲットを絞った戦略的な魅力発信の加速化などに取り組み、移住者の増加及び未永い定住を促進し、活力ある地域づくりを目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 ワーケーション、副業・兼業、二地域居住の定着に向けたデュアルスクールの実施を行い、更に深化したライフスタイルの提案・定着に取り組む。</p> <p>・デュアルスクールの実施（委託料等）3,125千円 移住と就業のマッチングをはじめ、移住希望者のニーズに応じた移住・交流支援に取り組む。</p> <p>・移住フェア・セミナー開催等（委託料等）41,328千円 SNSやウェブサイトを活用した若者目線の情報発信や、首都圏・大阪圏在住の方に向けた更なるU I Jターン関連の情報発信など、ターゲットを重点化した戦略的な魅力発信に取り組む。</p> <p>・各種メディアを活用した魅力発信（委託料等）8,861千円</p> | | | | |  <p>「とくしま若者回帰アンバサダー」 による地域の魅力体験</p>  <p>阿波（徳島）のいろんな魅力を 若者目線で発信</p> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内企業等と連携して、魅力的なワークライフスタイルの発信に取り組むとともに、県内の市町村教育委員会等と連携したデュアルスクールの受け入れなどに取り組む。 | | | | | KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | ①本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,030人） ②とくしまで住みたい会員数（＋500人） ③本県への本社機能誘致数（＋8社） ④デュアルスクール実施回数（＋31回） |

事業概要【「グリーン社会とくしま」の実現による持続可能な地域づくり推進事業】

| | | | | | | | |
|---|---|---|--------|--|----------|--|---|
| 申請者 | 徳島県ほか7自治体※ | | | | | 初回採択回 | 令和4年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R4-R8年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 459,892千円 (106,349千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 人や企業の地方分散 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">・気候変動対策や脱炭素社会の推進に向けた普及啓発等を図る。・環境先進県としての取組に賛同する企業や人材等の集積・移住交流の推進を図る。・次世代の「グリーン社会」を担うGX人材の育成を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】 自然エネルギー等導入に向けた普及啓発・広報活動や、GX推進に伴う県内外への魅力発信及び県外企業・人材等の誘致・交流促進、次世代GX人材育成確保に向けた環境教育などに取り組み、持続可能な地域づくりを実現する。</p> <p>【ソフト事業経費】 脱炭素社会実現に向けて、地域の企業・団体や住民等への情報発信及び普及啓発活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・普及啓発・広報活動等（委託料等）4,100千円首都圏及び関西圏における集中的な魅力発信や、企業・団体向けの効果的なプロモーション活動の展開に取り組む。・首都圏等における魅力発信・広報活動等（委託料等）8,280千円次世代GX人材育成確保に向けた環境教育等を実施する。・「とくしまGXスクール」等による環境学習・育成研修（委託料等）2,090千円 | | | | |  | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 地域で活動する特定非営利活動法人等と連携して、普及啓発・広報活動に取り組むとともに、観光団体等と連携して、イベント実施などに取り組む。 | | | | | KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small> | <ul style="list-style-type: none">★①本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,588人）②地域でのGX推進に向けた協働活動実践企業・団体数（＋24企業・団体）③「とくしまエコパートナー」の協定締結企業・団体数（＋29企業・団体）④樺木林業関連産業の新規就業者数（＋2人） |

※徳島県、徳島市、三好市、阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町の広域連携事業

事業概要【2つのX（GX・DX）とイノベーション創出による徳島経済飛躍事業】

| | | | | | | | |
|---|---|---|--------|--|----------|--|--|
| 申請者 | 徳島県、徳島市 | | | | | 初回採択回 | 令和4年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R4-R8年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 782,082千円 (129,799千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・GX・DXによる本県企業の競争力強化を図る。 ・海外展開の促進によるグローバル市場の獲得に取り組む。 ・イノベーションの創出による地域活性化を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】 「ジャパングループ・徳島」を中核とした「カーボンニュートラル」実現に向けた取組、DXの促進による競争力の強化と海外展開支援、イノベーションの創出による産業振興などに取り組み、地域経済の活性化を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 研究開発により市場投入された製品を大規模展示会へ出展するなど、GX製品の販路拡大を通じてGXで稼ぐことができる企業の増加に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会への出展支援の販路拡大支援（委託費等）22,050千円 「DX実装モデル企業」の創出に、海外バイヤーを中心に、デジタルコンテンツ等を活用したオンラインプロモーションなどに取り組む。 ・企業のDX推進と海外展開支援（委託費等）33,803千円 生成AIをはじめとするIT人材育成や、生成AIの活用による企業の生産性向上を図る。 ・小中学生を対象としたSTEAM人材等育成（補助金）2,500千円 ・生成AI活用人材の育成支援（委託費）3,500千円 | | | | |  | |
| 地域の多様な 主体の参画 | <p>民間事業者等と連携して、DX導入や新技術開発、販路開拓に取り組むとともに、金融機関等と連携して、専門的助言や融資・ファンド等による支援などに取り組む。</p> | | | | | <p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> | <p>★①徳島県の輸出額(中小企業分)の総増加額 (+159億円)</p> <p>②脱炭素社会に貢献する製品の試作品数 (+50個)</p> <p>③デジタルトランスフォーメーション (DX) モデル創出件数 (+27件)</p> <p>④コンテンツ産業関連企業の増加数 (+75社・者)</p> |

事業概要【SDGs先進地域「にし阿波」における農泊観光推進プロジェクト】

| | | | | | | | |
|-----------------|--|---|--------|--|----------|--|--|
| 申請者 | 徳島県ほか4自治体※ | | | | | 初回採択回 | 令和4年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R4-R8年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 448,032千円 (94,824千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 観光分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">・SDGs先進地「にし阿波」での観光をきっかけとした関係人口・交流人口の創出を図る。・地域住民の観光関連事業等への参画を通してシビックプライドの醸成を図る。・農泊での地域住民との深い関わりによって、リピーターやにし阿波ファンを獲得し、移住や定住の増加を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 | <p>【事業概要】 SDGsを観光全体への取り組みに展開するための重要な受け皿としての「農泊」の充実、SDGsを活用した新たな国内外向け「旅行商品」のブラッシュアップ、シビックプライドの醸成を通じた人材活用などに取り組み、国内外からの交流人口・関係人口の増加を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 国内外からの誘客を見据えた新戦略への展開等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・新戦略への展開、進捗管理マネジメント（委託費）5,000千円 <p>新たな国内外向け旅行商品の魅力向上や、国内外の商談会への出展による販売促進の強化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・SDGsモデルコースへのブラッシュアップ、国内外の商談会出展（委託費等）18,630千円 <p>移住就農による地域産業の担い手の育成・活用に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の養鶏業担い手育成に向けた「チキンファーム構想」推進（委託費等）3,134千円 | | | | | <div>体験型教育旅行の誘致・受入体制の充実など</div>  <div>にし阿波の農山村暮らし体験を コンテンツ化</div> <div>「SDGs実践の地・にし阿波」の保全・継承など</div>  | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 地元DMOや県内の高等教育機関、農業協同組合等と連携して、プロモーション活動の展開、課題の共有、改善提案などに取り組む。 | | | | | KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none">①にし阿波における農泊施設の延べ利用者数（+4,700人）②にし阿波における国内延べ宿泊者数（+91,000人）③にし阿波への移住者数（+100人） |

※徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の広域連携事業

事業概要【3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム】


| | | | | | | | |
|-----------------|---|---|--------|--|----------|---|---|
| 申請者 | 徳島県ほか7自治体※ | | | | | 初回採択回 | 令和4年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R4-R8年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 1,097,358千円 (225,840千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 観光分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none"> 県民が本県の魅力を国内外へ発信することにより、多くの観光客が訪れ、観光産業が活性化され、雇用の創出や地域経済の活性化を促進する。 県産品や豊かな食を、観光と一体となって国内外に売り込み、「徳島ファン」の増加を図る。 四国の玄関口に位置する利点を活かした関西からの旅行訪問者の増加を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 | <p>【事業概要】 関西を主要ターゲットとした周遊・滞在型観光の促進、「阿波の食」を核とした魅力発信とプロモーション、徳島ならではの観光資源の魅力発信やコンテンツ開発などに取り組み、地域経済の活性化を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 地元DMOと連携した関西と空からの玄関口・県東部圏への誘客促進や、旅行会社による観光バスを使った企画旅行商品造成に取り組む。 ・DMOと連携した誘客・周遊促進、旅行商品造成支援（補助金）30,000千円 県と市の連携による様々な媒体でのプロモーション活動に取り組む。 ・WEBプロモーション（委託料）1,300千円 「阿波おどり」、「DMV」、「アニメ」のほか、興味・関心の深化を図ってきた県産品や藍などを活かした民間主体のイベントを支援することにより、魅力的かつ持続的な観光誘客に取り組む。 ・民間主導イベントへの支援（補助金等）89,554千円</p> | | | | | <div>  <p>阿波おどり</p> </div> <div>  <p>祖谷のかずら橋</p> </div> <div>  <p>藍染め</p> </div> <div>  <p>DMV</p> </div> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 地元DMO、観光関連事業者等と連携して、消費者目線での新商品造成、受入体制強化、SNS等を活用したデジタル発信などに取り組む。 | | | | | KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | ①宿泊旅行による旅行消費額（+871.27億円） ②客室稼働率（+20.7%） ③観光情報サイト総アクセス件数（+471万件） |

※徳島県、徳島市、鳴門市、小松島市、勝浦町、海陽町、松茂町、藍住町の広域連携事業

事業概要【Targeting 大阪・関西万博！「バーチャル」×「リアル」な体験による新たな「人の流れ創出」事業】

| | | | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--------|--|----------|--|---|--|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和4年度第2回募集 |
| 事業計画期間 | R4-R8年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 181,169千円 (41,646千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | | 事業分野 | 地方への人の流れ分野 |
| 目的・効果 | ・2025年大阪・関西万博の開催と併せて、インターネット上の「WEBパビリオン」において、構築したプラットフォームの活用による情報発信により、徳島への来訪、交流人口の拡大を促進する。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】 とくしまWEBパビリオンの構築及びバーチャルコンテンツの作成、海外との交流イベントの開催、徳島の豊かな自然や文化、産業等に「リアル」に触れる地域活性化イベント実施などに取り組み、地域経済の活性化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 「とくしまWEBパビリオン」において、大阪・関西万博の「徳島パビリオン」や催事、県内でのイベントと連携した、本県の魅力発信に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・イベントとの連携コンテンツ作成・運用・発信（委託費）9,700千円本県の魅力の世界への発信と、海外からの徳島ファンの創出に向けて、国際交流を深め、学生同士の交流イベント開催などに取り組む。・国際交流イベント開催（委託費等）11,722千円 <p>メタバースでの「バーチャル」な体験を通じて、本県の魅力を「リアル」ならではの「特別な体験」として実感することができるイベント開催などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域活性化イベント開催（需用費等）20,224千円 | | | | | |  <p>「大阪・関西万博」徳島県公式サイト</p> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の商工関係団体、観光関係団体等と連携して、広報活動に取り組むとともに、県内の高等教育機関等と連携して、若者の意見聴取や教育機会の創出につながる自主的な活動などに取り組む。 | | | | | | KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | ①デジタル関係人口の創出数 (+7,500人) ②「とくしまバーチャルパビリオン」イベント来場者数 (+65,000人) ③国際交流イベントの開催回数 (+21回) |

事業概要【大阪・関西万博に向けPDCAサイクル加速！循環人口創出事業】

| | | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--------|--|----------|--|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | 初回採択回 | 令和5年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R5-R9年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 487,262千円 (103,350千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 地方への人の流れ分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">万博後を見据えたソフトレガシーとして「徳島県と外部との新たな関係性づくり」の仕組みを構築することで、イノベーションがイノベーションを呼ぶ、継続的な人の循環のエコシステムを構築する。県外人口との多様な関係性を構築し、「人の出入り」の全体数を底上げし、徳島県を、様々な分野の「社会経済活動の現場」へと構造転換を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】 関係づくりコンテンツの万博における実証と未来へ向けた仕組みの確立、サステナブルな「食体験」コンテンツの「実装・深化」、生産から消費までSDGs視点で食のイベントの実施などに取り組み、新たな人の流れを創出する。</p> <p>【ソフト事業経費】 2025年大阪・関西万博及び本県で開催される各種大規模イベントを一体的に発信するとともに、本県が世界・全国に優位性をもつイメージ設定とコンセプトPRツール制作などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・デジタルマーケティング等を活用した情報発信（委託料）84,000千円・本県農林水産業に貢献する体験や地域に根ざした食文化を楽しむことができる着地型コンテンツの充実・深化などに取り組む。・市場関係者と連携したプロモーション活動の展開（委託料）4,500千円・全世代の消費者に本県ならではの取組や、県内外において、本県が誇る豊かな「食材」と魅力ある「食文化」を発信するイベント開催などに取り組む。・製品開発・PR、販路拡大支援（委託料等）14,850千円 | | | | |  | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の商工関係団体、観光関係団体等と連携して、広報活動に取り組むとともに、県内の高等教育機関等と連携して、若者の意見聴取や教育機会の創出につながる自主的な活動などに取り組む。 | | | | | KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none">①循環人口の創出（循環人口率）（+28%）②転入＋転出口の総体での増加（転出入比率は維持）（+4,029人）③食育に関心を持っている人の割合（+9%） |

事業概要【リアル“N I S H I – A W A”観光振興プロジェクト】

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|--|---|------------|---|-------------|---|---|---------|
| 申請者 | 徳島県、つるぎ町、美馬市 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 | |
| 事業計画期間 | R7-R11年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 6,316,554千円 (617,772千円) | |
| 経費の種類 | ソフト 事業 | ✓ | 拠点整 備事業 | ✓ | インフ 整備事業 | ✓ | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | ・にし阿波の主たる観光地や地元を舞台とした「RPGアプリ」による観光資源の魅力発信や、「現地で地域の魅力」を体験できる「アプリと連動した地元イベントの開催」、その中心的位置づけとなる「おもてなし施設（観光拠点）の整備」、「日本一の清流穴吹川での川遊びの魅力発信」、観光客が安心・安全に通行できる「周遊ルート等の整備」により、国内外からの新たな観光客の獲得など関係人口を拡大させ、地域経済活動の活性化や新たな雇用創出など「地域のにぎわい創出」を図る。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】</p> <p>「RPGアプリ」を通じて地域に興味を持ち、現地に来てもらうための情報発信やイベント開催を行うとともに、既存施設のリニューアルによる「地域の観光拠点」の整備や、観光客が安心して観光地を周遊でき、さらにリピーターとなってもらえるよう「安心・安全な観光アクセスルート」を確保する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>都市圏・若年層向けのSNS広告やプロモーション動画の制作・配信によるアプリの魅力発信や、アプリと連携したリアルイベント開催などに取り組む。</p> <p>・情報発信、イベント開催（委託料等）2,226千円</p> <p>・穴吹川の川遊びPR、イベント開催（委託料等）※R8～</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>観光拠点の整備</p> <p>・施設整備 154,594千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】</p> <p>観光地への安心・安全なアクセスを確保する道路整備等</p> <p>・工事請負費等 460,952千円</p> | | | | | | | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 「RPGアプリ」の作成やPR、アプリによる観光地や店舗への誘客など、地元の企業や学校、住民と連携して行い、地域の魅力発信などに取り組む。また、穴吹川の川遊びの魅力を積極的にPRし、観光振興の相乗効果を図る。 | | | | | KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | ★①つるぎ町・美馬市の観光入込客数（+10.8万人） ②RPGアプリのダウンロード数（+1.7万人） ③周遊ルートにおける1日あたりの総アクセス時間短縮（▲100時間） ④周遊ルートにおける事故発生件数減少率（▲40%） ⑤周遊ルートにおける危険箇所対策率（+100%） ⑥穴吹川の川遊び入込客数（+0.8万人） | |

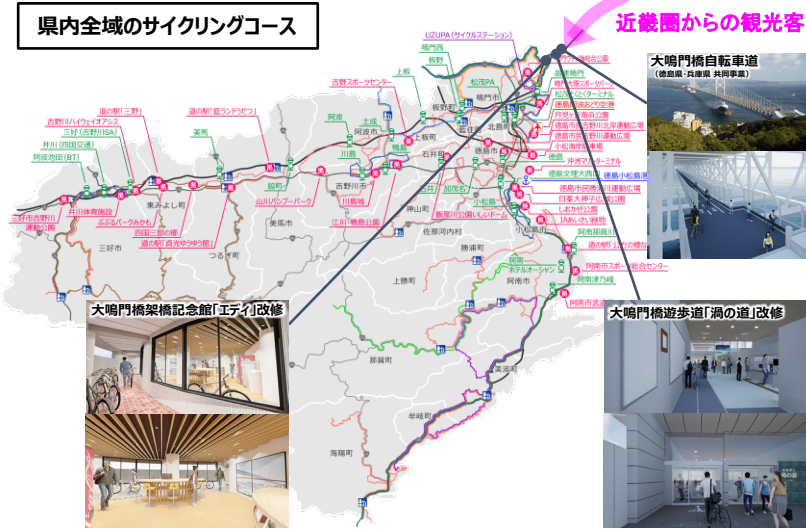
事業概要【官民協働地域DX推進事業】

| | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|------------|--|-------------|--|---|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 469,590千円 (191,530千円) |
| 経費の種類 | ソフト 事業 | ✓ | 拠点整 備事業 | | インフ 整備事業 | | 事業分野 | まちづくり分野 |
| 目的・効果 | ・官民協働スペース「とくしまDX推進HUB」の創設により官民が連携してDXを推進し、地域課題の解決による労働生産性向上、付加価値の創出を目指すとともに、地方創生に資するDXを促進する。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 | <p>【事業概要】 官民協働ワーキンググループの創設と地域DXの推進に向けた実証実験の実施、とくしまDX推進HUBの設置・運営、デジタル人材を活用した相談窓口の設置や伴走支援の実施による市町村支援などに取り組み、労働生産性の向上や付加価値の創出を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 官民協働ワーキンググループで検討したデジタル技術を用いた地域課題を解決する取組について実証実験を行う者への支援などに取り組み。</p> <p>・実証実験支援（補助金）50,000千円 とくしまDX推進HUBを設置し、デジタル人材と県、市町村職員、県民、事業者等が集う会員制のスペースを設け、地域DXを推進するための拠点づくりに取り組む。</p> <p>・とくしまDX推進HUB設置（工事費）30,000千円 ・とくしまDX推進HUB運営等（委託費）23,000千円</p> | | | | | | <pre>graph TD; A[市町村] --- B[県]; B --- C[団体]; C --- D[大学]; D --- E[企業]; E --- A; A --- F[市町村支援・デジタル人材育成等]; B --- G[地域課題の検討・実証・実装]; F --- H[地域DX]; G --- H; H --- I[労働生産性向上 付加価値の創出];</pre> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 外部デジタル人材等と連携して、DXの推進に係る専門的知見や情報通信産業分野における人脈の活用による地域課題解決策の策定や、市町村が地域DXを推進するための伴走支援を実施する。 | | | | | | KPI | ①徳島県の労働生産性（+300千円） ②官民協働ワーキンググループで検証し、実証実験を実施した件数（+15件） ③県内市町村で実施したDXの推進に向けた取組の件数（+24件） ④デジタルデバйд対策や人材育成等として「スマホ教室」「情報モラル教室」「キャリア教室」等を実施した回数（+15件） |




事業概要【インバウンドを核とした徳島地域経済活性化事業】

| | | | | | | | | |
|---|--|---|------------|--|-------------|--|--|--|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 1,787,200千円 (604,200千円) |
| 経費の種類 | ソフト 事業 | ✓ | 拠点整 備事業 | | インフ 整備事業 | | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">・インバウンド・アウトバウンド双方の利用を促進し、国際定期便・国内便の安定的な就航を目指す。・国内外への効果的なプロモーションや首都圏でのプロモーションにより、本県の認知度・魅力度の向上を目指す。・宿泊施設の積極的な誘致や、インバウンド受入環境整備の支援等により、積極的な誘客促進を図る。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】 動線の継続的な確保、国内外から観光地として選ばれるための認知度・魅力度の向上、誘客需要をとりこぼさない受入体制の構築などに取り組み、地域経済の活性化や交流人口の増加を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 国際定期便2路線（香港・韓国）及び国内航空路線について、就航継続及び新規路線獲得に向けた支援・プロモーションなどに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・海外での旅行博出展等のセールス活動（委託費等）71,000千円・首都圏における大規模プロモーション等を活用した認知度向上施策の実施や、多様なチャンネルを活用した戦略的なプロモーションを展開する。・戦略的なプロモーションの展開（委託費等）311,700千円 <p>宿泊施設について、事業者による積極的な営業活動を行うとともにインバウンド受入において必要な環境整備などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・商談会開催やアテンド等の誘致（委託費等）24,500千円・県内事業者における受入環境整備の支援（補助金等）38,000千円 | | | | | |  | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の観光関係団体や地元マスコミ等と連携して、プロモーションの展開や県内イベントの情報発信などに取り組む。 | | | | | | KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small> | <ul style="list-style-type: none">★①年間外国人延べ宿泊者数（+6万人）②年間延べ宿泊者数（+45万人）③徳島阿波おどり空港の利用者数（+18万人）④年間観光入込客数（+400万人）⑤国内年間旅行消費額（+170億円）⑥観光満足度（+2.4%） |

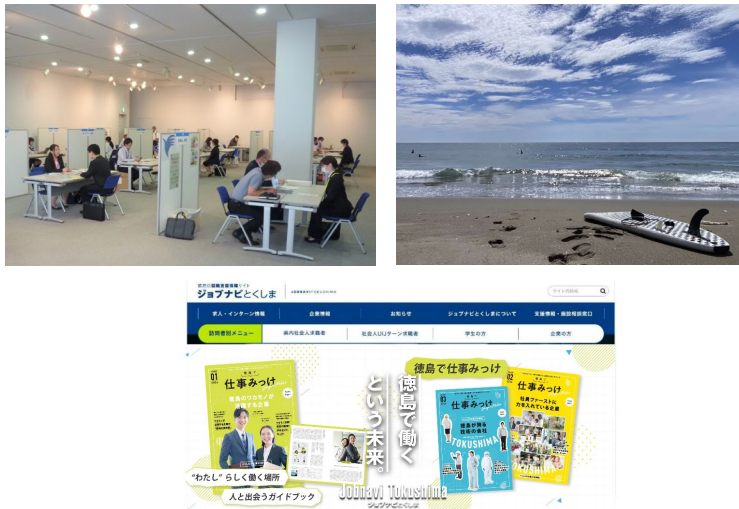
事業概要【スポーツを通じた地方創生による「スポーツ立県TOKUSHIMA」創造プロジェクト】

| | | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|--------|---|----------|--|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R11年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 3,460,530千円 (861,880千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | ✓ | インフラ整備事業 | ✓ | 事業分野 観光分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">デジタル技術活用による健康づくり・人材育成を核とした「地域ブランド力向上」やスポーツツーリズム推進により、観光者数や交流人口の増加を図る。サイクリングのための新たなゲートウェイ機能を有する施設の整備やサイクリスト受入環境の充実などにより、地域経済の活性化を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】</p> <p>スポーツツーリズム推進に加え、渦の道の改修、架橋記念館エディのリニューアルによる観光拠点の魅力向上や、自転車利用者のための通行空間等の整備などに取り組み、地域経済の活性化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>産学官連携による事業実施体制の整備や、課題の把握・事業手法を検討するとともに、サイクルツーリズムの醸成に向けた調査などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・「子ども体力向上」メソッド検討（負担金）8,895千円・サイクリングマーケティング調査（委託料）12,910千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>渦の道待合室改修及び架橋記念館エディ1階を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・施設整備 230,000千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <p>サイクリング施設改修に伴う周辺自転車道や標識などを整備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・工事請負費等 598,750千円 | | | | | <p>県内全域のサイクリングコース</p>  <p>近畿圏からの観光客</p> <p>大鳴門橋自転車道 (徳島県・高松県・愛媛県)</p> <p>大鳴門橋架橋記念館「エディ」改修</p> <p>大鳴門橋歩道「渦の道」改修</p> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の自転車関連事業者やプロスポーツチーム、スポーツ競技団体等と連携して、現場目線、専門的知見を生かした事業提案、事業構築などに取り組む。 | | | | | KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none">①年間延べ宿泊者数（+65万人）②国内年間旅行消費額（+290億円）③国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数（+32件）④肥満傾向児の出現率（▲2.5%） |

事業概要【「あわ文化」の魅力再発見による「文化観光」加速化事業】

| | | | | | | | | |
|---|--|---|--------|--|----------|--|---|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 199,317千円 (67,807千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | <div>・「あわ文化」の魅力を再認識し、「田舎の文化」に誇りを持ち発信してもらうことで文化観光の加速化を図る。</div> <div>・研究や「あわ文化」の発信を活性化し、文化財を確実に引き継いでいくため、保存と活用を担う次代の人材を育成する。</div> | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <div>※経費内訳はR7年度事業費</div> | <div>【事業概要】</div> <div>地域の文化資源を生かした魅力的なコンテンツの充実、あわ文化の効果的な魅力発信、あわ文化の承継などに取り組み、県民一体となった「文化観光」の推進を図る。</div> <div>【ソフト事業経費】</div> <div>県内の国内最古級恐竜化石含有層の発掘調査により、新たな資料を収集し、展示の充実を図るとともに、発掘体験イベント開催などに取り組み。</div> <div>・恐竜化石含有層の発掘調査等（委託費等）27,091千円</div> <div>国外で活躍する人形遣いや劇団を阿波十郎兵衛屋敷へ招聘し、県内人形座との合作公演など、リピーター確保につながるイベント開催に取り組み。</div> <div>・県外への人形座や人形師、学生の派遣（委託料）2,000千円</div> <div>2025年大阪・関西万博における展示工芸品等を県内施設へ移設し、県内で徳島パビリオンを体感できる展示空間として構築する。</div> <div>・展示工芸品、映像コンテンツ等の県内展示（委託料等）17,000千円</div> | | | | | | <div></div> <div>トクシマ恐竜展2024</div> <div></div> <div>阿波十郎兵衛屋敷での人形浄瑠璃公演</div> <div></div> <div>重要伝統的建造物保存地区 (美馬市脇町)</div> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県有施設の指定管理者等と連携して、利用者の増加や地域住民の関係性構築につながるイベントの開催などに取り組み。 | | | | | | KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <div>★①年間観光入込客数（+400万人）</div> <div>②文化の森総合公園文化施設入館者数（+0.99万人）</div> <div>③大学との連携事業による対応人数（+15名）</div> <div>④阿波十郎兵衛屋敷の外国人入館者数（+1,200人）</div> <div>⑤万博・徳島パビリオンおよび県内レガシー展示の体験者数（+55.6万人）</div> |

事業概要【持続的な県勢発展に向けた人材確保対策事業】

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|--------|--|----------|--|--|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 709,830千円 (164,610千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | | 事業分野 | 人や企業の地方分散 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">・徳島県内で深刻化する「人材不足」に対し、「人材の流出抑制」「潜在労働力の活用」「人材の還流促進」の視点から人材確保対策の施策を展開する。・本県の魅力の発信や誰もが働きやすく魅力的な職場環境の整備などを行い、県内での雇用・定着を促進することで、企業や地域の活力維持・社会動態の改善を目指す。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】 若者を中心とした人材流出の抑制、潜在的な人材の確保、人材還流の促進などに取り組み、就職先や移住先として多くの方に選ばれる徳島を実現し、県内企業や地域の活力維持を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 企業・若者への取材や生の声をベースにした動画、SNSなどの広報媒体の制作や、関係機関との連携による若者へのアプローチなどに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・ウェブサイト等情報発信経費（委託料）15,000千円 県内企業における「働きやすい環境づくり改革」に取り組み、県内における魅力ある職場づくりを推進する。・就業規則整備や健康経営の視点を踏まえた職場環境づくりへの支援（補助金等）28,000千円 就職面接会や職場体験、セミナー等開催によるマッチング促進や、企業等への個別訪問による相談支援や説明会の開催などに取り組む。・雇用、定着促進（委託料等）40,000千円 | | | | | |  | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の経済団体・業界団体等と連携して、県内企業の人材確保上の課題やニーズの詳細把握や企業への情報共有に取り組むとともに、県内の高等教育機関等と連携して、最新の学生動向、就活の現状・ニーズを踏まえた情報発信などに取り組む。 | | | | | | KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none">★①採用充足率（±0%）②本県における移住者数（+300人）③「とくしまファン」オンラインコミュニティ登録者数（+2,000人）④15歳以上人口に占める就業者の割合（+2.97%） |




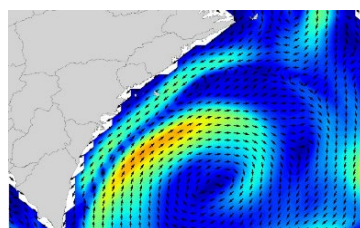
事業概要【新たな地域商社を核とした産業の国内外展開支援事業】

| | | | | | | | | |
|---|--|---|--------|--|----------|--|---|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 707,655千円 (241,485千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | ・商社勤務経験者などの専門人材を有する（公社）徳島県産業国際化支援機構等と連携し、ブランディングによる高付加価値化、観光等との一体的プロモーションによる国内外への販路開拓、ビジネス拡大に取り組む県内事業者の掘り起こしなど、国内外への事業展開を支援し、域外の需要の獲得による県内産業の持続的な成長を図る。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】 観光・文化と一体となった県産品プロモーション、県産品のブランディングとブラッシュアップ、ビジネス拡大に取り組む域内事業者の掘り起こしと育成などに取り組み、県内経済の持続的な発展につなげる。</p> <p>【ソフト事業経費】 食・文化・観光が一体となった「オール徳島」での営業活動やプロモーションを展開するとともに、国内外バイヤーと県内事業者とのマッチング、生産者や事業者の営業力強化の支援などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・食、文化、観光の一体的なプロモーション（委託料）83,484千円・専門人材による輸出手続き等の伴走支援や、市場ニーズに合わせた新商品開発・既存商品のブラッシュアップ支援などに取り組む。・専門人材による販路開拓支援（委託料）27,792千円 <p>ワンストップ相談窓口の設置や海外政府機関・自治体等と連携した海外展開支援、海外市場に関する調査などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・企業の海外展開支援（委託料）34,640千円 | | | | | |   | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内企業等と連携して、国内外への販路拡大と県産品の魅力発信、伴走支援などに取り組む。 | | | | | | KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small> | ★①徳島県の輸出額（中小企業分） （+36億円） ②県産農林水産物・食品輸出額（+25.5億円） ③徳島県の輸出企業数（中小企業分） （+30社） |

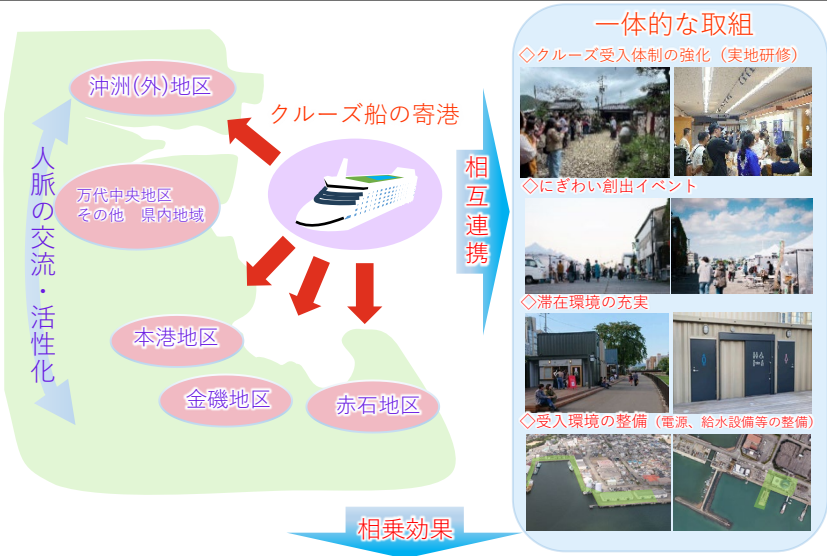
事業概要【「サステナブルな徳島県林業」の実現】

| | | | | | | | | |
|---|--|---|--------|--|----------|---|--|---|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R11年度 | | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 756,750千円 (131,550千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | ✓ | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | ・徳島の林業・木材産業の魅力が認知され、先人から受け継がれた豊かな環境の下、多様な働き手が活躍し、意欲と能力のある林業事業体等による資源の循環利用が確立されるとともに、適切な森林管理が進み、持続可能な林業の展開を図る。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】 多様な人材の育成・確保、適正な森林整備の推進、成熟した資源の活用などに取り組み、県内外の働きたい人に「徳島での林業」が選ばれる「サステナブルな徳島県林業」を実現する。</p> <p>【ソフト事業経費】 起業予定者及び起業後間もない林業事業体等を対象とした起業支援・経営改善に関する研修会やスキル取得に向けた研修会の開催、専門家による起業支援サポート及び経営アドバイス支援などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修会、サポート支援等（委託料等）13,600千円・業務プロセスの変革による効率化・省力化・コスト削減等に向けた森林クラウドシステムの構築や、AIを活用した更新システム導入などに取り組む。・林業DXプロジェクト実装（委託料）61,800千円 <p>県産材の需要拡大に向けて、県外展示会への出展や、国外における展示商談会による需要・販路拡大などに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・県産材レガシー創出対策（委託料）10,500千円 | | | | | |  多様な人材の育成・確保 |  適正な森林整備推進（森林クラウド） |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の林業関係事業体や木材産業関係団体等と連携して、定期的な事業報告会での情報共有や、関係団体からの聞き取り調査や効果的な研修実施などに取り組む。 | | | | | |  成熟した資源の活用（木質化） |  多様な主体による森林の保全管理 (林道魅力向上、森林公園リフレッシュ) |
| | | | | | | | KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | ★①県産材の生産量（+9万m3） ②新規林業就業者数（+120人） ③県内における原木消費量（+12.12万m3） ④SDGs森林づくり宣言企業・団体数（+115企業・団体数） ⑤林道沿線での立木搬出量（+1.1万m3） ⑥林道関係者の交流人口・関係人口の増加数（とくしま林道ナビの年間アクセス数）（+3.9万アクセス） |

事業概要【とくしまスマート農林水産業における人材育成と成長産業化事業】

| | | | | | | | | |
|---|---|---|--------|--|----------|--|--|---------|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 | |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 504,350千円 (148,950千円) | |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | ✓ | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none">経営規模拡大などに資する生産基盤の整備を行うとともに、スマート技術の実践的な研修等を展開し、スマート農林水産業を担う多様な人材の育成・確保を図る。生産現場に適合するスマート技術の開発・導入・利用拡大を推進するとともに、産学官連携による生産から販売に至るまでの一貫したイノベーション創出により、徳島県の農畜水産物産出額のV字回復を目指す。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】 スマート農林水産業を担う人材育成・確保、スマート農林水産業による成長産業化などに取り組み、持続可能な成長産業として、次世代へ継承される本県農林水産業を実現する。</p> <p>【ソフト事業経費】 「とくしま農林水産チャレンジセンター」を核として、スマート技術や経営ノウハウ等の習得に必要なリスキリング研修や先駆的な生産者の元での実践研修などに取り組む。</p> <p>・スマート技術の実践研修（委託料等）27,844千円 新たに「とくしまスマート農業推進プラットフォーム」を立ち上げるなど、生産現場の課題を解決するプロジェクト活動を推進するとともに、生産者・団体、高等教育機関に加え、異業種のものづくり企業等で構成する「とくしま農林水産業イノベーションHUB」を本格始動し、スマート技術等の革新的な技術開発や新たなビジネスモデル構築などに取り組む。</p> <p>・産学官連携でのイノベーション創出（委託料等）15,000千円</p> | | | | | <div> スマート農業研修（施設園芸）</div> <div> ドローン導入実証（レンコン産地）</div> <div> スマート漁業研修（定置網）</div> <div> 海況予測システム（潮流予測）</div> | | |
| 地域の多様な 主体の参画 | 県内の農林水産関係団体、生産法人、ものづくり企業等と連携して、農林水産分野の実践的な各種研修の実施や、革新的な技術開発に向けた現地実証のコーディネート、革新的技術の活用による生産から販売までの一貫支援などに取り組む。 | | | | | KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small> | <ul style="list-style-type: none">★①農畜水産物産出額（+45億円）②農林水産業新規就業者数（+810人）③スマート技術活用経営体数（+450経営体）④産学官連携プロジェクトによるイノベーション創出数（+6件）⑤高収益作物の作付面積増加率（+10%） | |

事業概要【みんな行きたい！港に呼び込む「徳島小松島港」にぎわいプロジェクト】

| | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|--------|---|----------|---|--|
| 申請者 | 徳島県 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第2回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R11年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 846,000千円 (90,500千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | ✓ | インフラ整備事業 | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | クルーズ船寄港のさらなる拡充により港のにぎわいの創出・地域活性化を図る。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】 徳島小松島港における「情報発信力・観光受入環境の向上」と「既存港湾施設機能の向上」に向けた一体的な取組を推進する。</p> <p>【ソフト事業費】 事業費 3,500千円 ○ニーズの多様化への対応、港のにぎわい創出 ・受入体制強化のための案内マニュアル作成等 ・港へのアクセス性向上のための多言語対応した案内等</p> <p>【拠点整備事業費】 事業費 87,000千円 ○受入環境の整備 ・既存港湾施設の機能向上のための電源、給水設備等の整備 ○滞在環境の充実 ・インバウンドに対応するためのトイレのUD化 ○情報発信 ・港のにぎわいイベント開催状況など リアルな映像をSNS等を活用して情報発信</p> | | | | |  <p>一体的な取組 ◇クルーズ受入体制の強化（実地研修） ◇にぎわい創出イベント ◇滞在環境の充実 ◇受入環境の整備（電源、給水設備等の整備）</p> <p>クルーズ船の寄港 相互連携 人脈の交流・活性化 相乗効果</p> <p>徳島小松島港のにぎわい創出・地域活性化の実現！</p> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | <p>・港湾関係事業団体より、具体的な意見を吸い上げ、事業内容の反映に取り組む。</p> <p>・関係市、国と連携を密に行い、港のにぎわい創出・地域活性化に取り組む。</p> <p>・地域の協議会と連携をとりながら、にぎわい空間の創出を行う。</p> | | | | | KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <p>★①クルーズ船寄港時の観光消費額（+51,568千円）</p> <p>②徳島小松島港へのクルーズ船寄港隻数（+8隻）</p> <p>③徳島小松島港（沖洲(外)地区・本港地区）へのクルーズ船・プレジャーボート寄港隻数（+4隻）</p> <p>④名称変更を行ったバス停の1日当たりの平均乗降者数（土日平均）（+5人）</p> <p>⑤港湾緑地施設（トイレ）のUD化率（+100%）</p> <p>⑥にぎわいイベント集客数（+6,200人）</p> |